

議会報告会開催概要（音別地区）

開催日時	平成 25 年 10 月 23 日（水）14：00～15：01
開催場所	音別町コミュニティセンター（研修室）
参加人数	3 人
出席議員	<p>黒木 満議長</p> <p>月田光明副議長 ～質疑応答・意見交換進行役</p> <p>高橋一彦議員（議会運営委員長）</p> <p>菅野 猛議員（総務文教常任委員長）</p> <p>宮田 団議員（総務文教常任委員）</p> <p>畑中優周議員（経済建設常任委員長）</p> <p>松永征明議員（経済建設常任委員）</p> <p>大島 毅議員（民生福祉常任副委員長）</p> <p>渡辺慶藏議員（民生福祉常任委員）</p> <p>土岐政人議員（石炭対策特別委員長）</p> <p>松橋尚文議員（広報特別委員長）</p>
質疑応答の内容	<p>問：釧路市民球場において、プロ野球チームの試合がしばらく行われていないが、将来試合が開催される見通しはあるか。</p> <p>菅野：市民球場は相当大規模な改修をしないと、プロ野球の試合開催は難しいと思われる。今後部分的に直していくが、この先改修を進めた上で球団と協議していくことになると考えている。</p> <p>問：道東自動車道の白糠インターチェンジが供用となるが、災害により国道 38 号線が不通となった時に備え、音別から同自動車道につなげる道路の整備が必要と考えるが、議会でも検討していただきたい。</p> <p>畑中：災害時に道東自動車道に通行できる道路の設置について、国へ要望を行っている。議員も、そうした道路の必要性は理解しており、今後議会の中でも議論していきたい。</p> <p>問：来年、音別町行政センターの新庁舎が建設となるが、旧町時</p>

代から建築資金を造成していたこともあり、新庁舎は地域のシンボルになると期待している。

月田：要望ということだと思うので、この点については、本日来場している音別町行政センター長にお話しいただきたい。

センター長：先ほどの災害時の道路の件だが、音別には地形的にもインターチェンジの設置は難しい。できれば現在工事車両が通行している道路を整備し、災害時に限り自動車道に通行できるようになればよいと考え、検討している。

また行政センター庁舎は、津波対策のため3階建てとし、庁舎屋上は津波発生時には避難所となる。また地元カラマツ材の内装材への活用や、1階多目的ホールの暖房としてペレットストーブの活用を予定している。

菅野：旧町時代の積み立てはあるが、今回の庁舎の建設費は5億円ほどで、積み立てた金額以上の予算がついており、センター長のというような地域材の活用や避難所としての利用ができるようにしているので、安心していただきたい。

問：津波が発生した時の、具体的な避難方法を市民に丁寧に周知してほしい。また、高速道路につながらないまでも、広域農道の利用も含めて、避難道路の確保についても検討してほしい。

菅野：8月に津波ハザードマップを全戸配付している。特に音別は避難困難地域に指定されており、具体的な避難方法は市で検討しているところだが、実際に大勢が車で避難すると渋滞などで新たな被害が発生するということも予想され、今のところ確実な避難経路、避難方法はできていないととらえている。

月田：まずは今回、マップを配付して浸水区域をお示ししている。避難方法についてはさまざまな課題があるが、これをクリアして、市民の皆さまに安心していただけるようにしたい。

畑中：迂回道路の整備は必要なことと考えている。市道については議会で議論し、それ以外の道路は国や北海道に働きかけていく。また、避難のための道路、避難した後の救出のための道路の確保についても重要であり、しっかり議論していきたい。